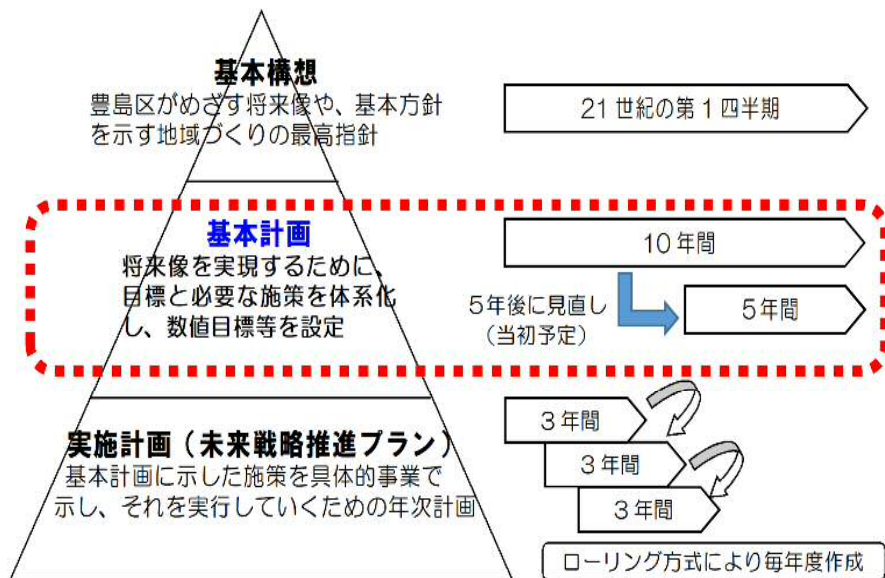


1 計画期間について

- 平成28年度に策定した基本計画は、基本構想に掲げる方針を具体化するため、必要な施策と目標を体系化し、目標管理にあたり数値目標を設定するなど、区の各分野における総合的な計画として策定した。
- 当初は計画の半期である5年後に見直しを行うこととしていたが、新型コロナウイルスの影響やSDGsの推進方策の整理などを踏まえ、1年遅らせることとし、後期4年間を見直しの対象期間とする。



	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31/R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
基本 構 想 改 定	豊島区基本計画(10年間)											
	当初の見直し予定							豊島区基本計画(後期)				
								新たな見直し予定				
構想期間：21世紀の第1四半世紀												

2 後期・基本計画策定スケジュール（想定）

	2020年度							2021年度													
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
区議会定例		3定		4定			1定				2定			3定		4定			1定		
全体の流れ	<p>前期の評価と後期計画策定方針の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会動向、前期計画の進捗状況等の確認 ・新たな視点（例：SDGs,コロナ対応）の計画反映方法検討 ・新たな政策・施策体系の方向性と策定方針の検討 等 							<p>後期計画の具体的な内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな政策・施策体系の具体的な内容検討 ・重点施策、施策内容の検討 ・成果指標の検討 等 					パブリックコメント	答申	<p>未来戦略プラン反映</p>						
審議会	基本構想審議会（附属機関）																				
庁内検討	庁内検討委員会																				
区民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくりに関する区民意識調査の実施 ・区民ワークショップの実施 ・来街者意識調査の実施 ・産業界ヒアリングの実施 ・区民説明会の実施 																				

3 後期・基本計画策定の基本的視点について

【主な論点】

(1) 新たな社会潮流等の中で特に意識したい視点

- ① SDGs（誰一人取り残さない社会づくり）
※SDGsは区のあらゆる施策に関わるもの。SDGsの理念や内容を踏まえ、すべての施策を横断的に点検する。
- ② 行政のデジタル化、区民サービスにおけるICT活用（コロナ禍によって明らかになった課題への対応等）
- ③ 国際アート・カルチャー都市のさらなる進展（東アジア文化都市、東京オリンピック・パラリンピックのレガシー等）
- ④ 安全・安心なまちづくりへの意識の高まり（自然災害やコロナ禍への対応等）
- ⑤ 子どもと女性にやさしいまちづくり（人口減少社会の到来と少子高齢化の進行への対応等）
- ⑥ 高齢者にやさしいまちづくり（日本一の75歳以上単身高齢者世帯割合等の都市課題への対応等）

(2) 後期としての計画の位置付け等をどう捉えるか。

- ① 前期・基本計画の政策・施策体系の取り扱い
※前期・後期の関係を固定的に捉えるか、新たな計画をつくるイメージで、柔軟に内容や、政策・施策の体系・数を見直すべきか。
- ② 施策ごとの前期の施策の達成度合い（KPI）の結果をどう評価するか。